

2024年3月期 決算説明会

ロート製薬株式会社
2024年5月14日

Agenda

1. 2024年3月期業績の概要
2. 2025年3月期業績予想
3. 中長期の持続的成長に向けた先行投資
 - 日本事業
 - 再生医療・医療用眼科治療薬Update
 - アジア事業（EYSの株式取得）

2024年3月期 業績の概要

副社長 兼 CFO
齊藤 雅也

2024年3月期の概況

□ 概況

- 行動制限の解除により個人消費の緩やかな回復が進む中、お客様のニーズに合った商品提案とインバウンド需要の回復に加え、円安の影響もあり業績予想未達ながら**大幅増収**
- 利益面でも大幅な増収に加え、粗利率の改善もあり、**全ての利益段階で大幅な増益**。売上・各利益段階で過去最高を更新

□ 国内市場: 大幅な増収増益

- 「メラノCC」「肌ラボ」「ロートV5」等が好調持続
- マスク着用習慣により伸び悩んでいたリップクリームもコロナ禍前を上回る
- 天藤製薬(株)も売上・利益に貢献

□ 海外も全地域セグメントで大幅な増収増益

- アジアは香港・台湾・インドネシアが好調を持続、中国も回復基調

連結損益

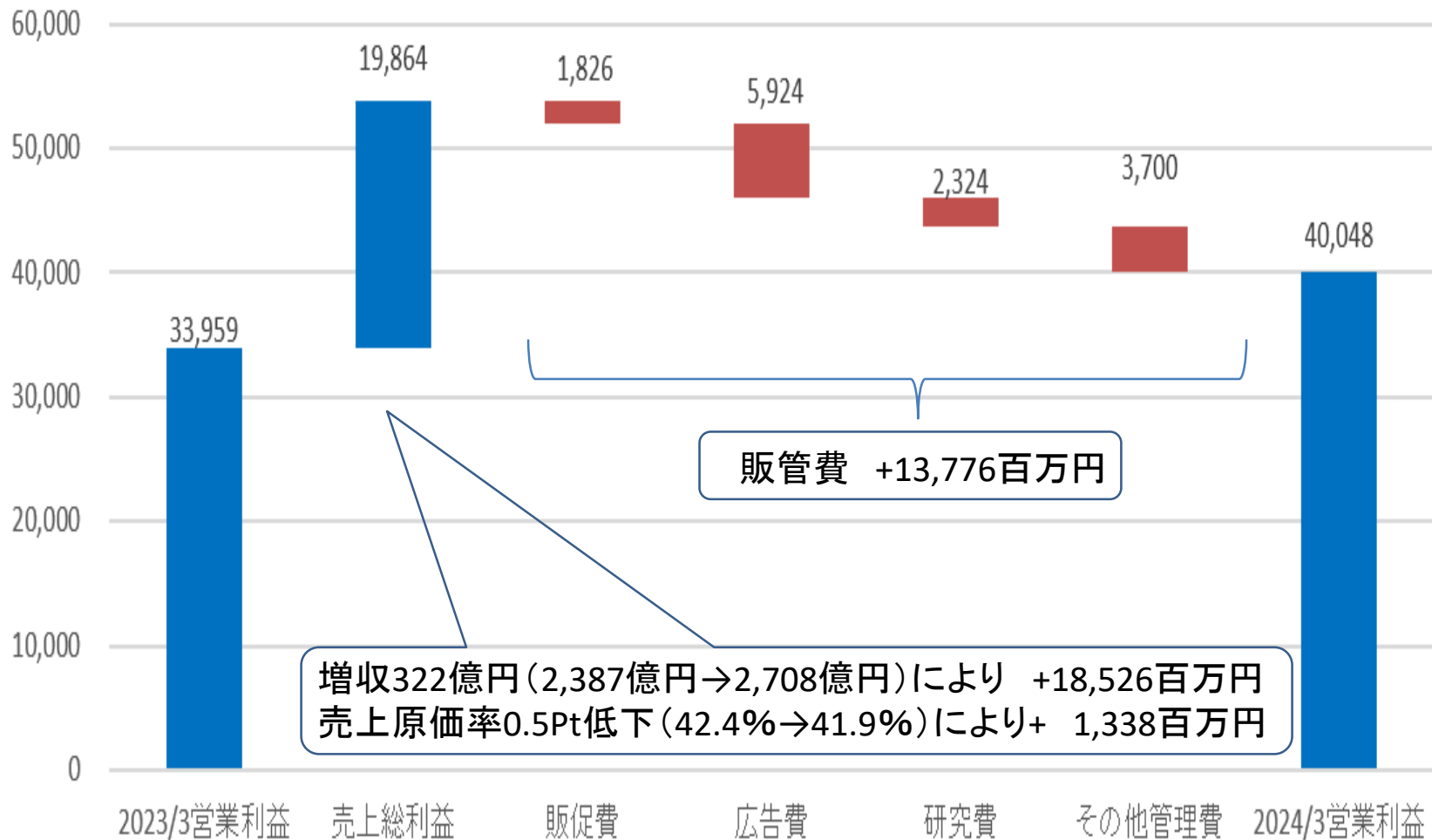
(単位 百万円,%)

	2023年3月期	2024年3月期	売上高比	増減額	増減率	公表値	増減率
売上高	238,664	270,840	100.0	32,175	13.5	272,000	△0.4
売上原価	101,243	113,554		12,310	12.2		
原価率	42.4	41.9					
販管費	103,461	117,237	43.3	13,776	13.3		
販促費	14,415	16,242	6.0	1,826	12.7		
広告費	32,052	37,977	14.0	5,924	18.5		
研究開発費	11,065	13,390	4.9	2,324	21.0		
その他	45,927	46,061	17.0	134	0.3		
営業利益	33,959	40,048	14.8	6,088	17.9	40,000	0.1
経常利益	35,568	42,434	15.7	6,866	19.3	41,500	2.3
親会社株主に 帰属する 当期純利益	26,377	30,936	11.4	4,559	17.3	30,000	3.1

※為替レート：USドル=143.31円（前年同期 134.19円）
 5 元 = 19.82円（前年同期 19.48円）

連結営業利益の増減

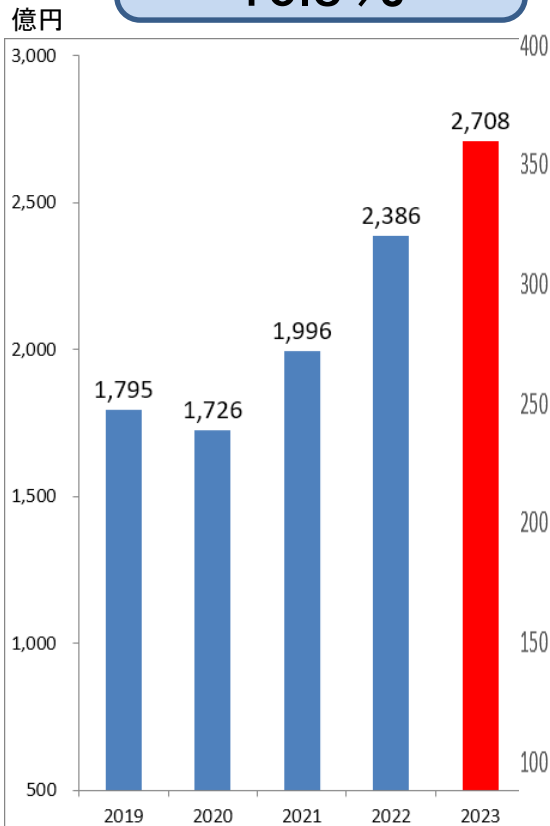
(百万円)



業績推移(5年)

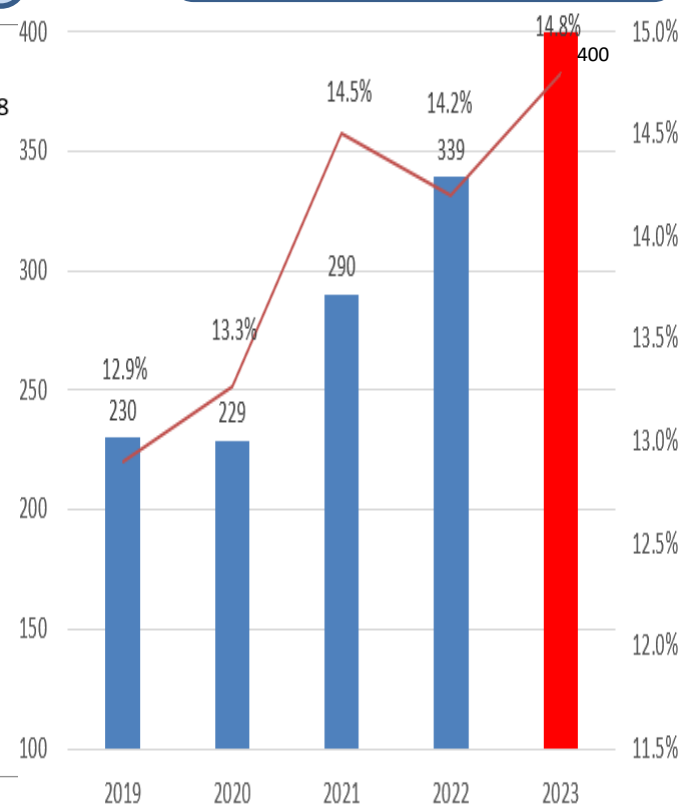
売上高

5年平均増収率
10.8%



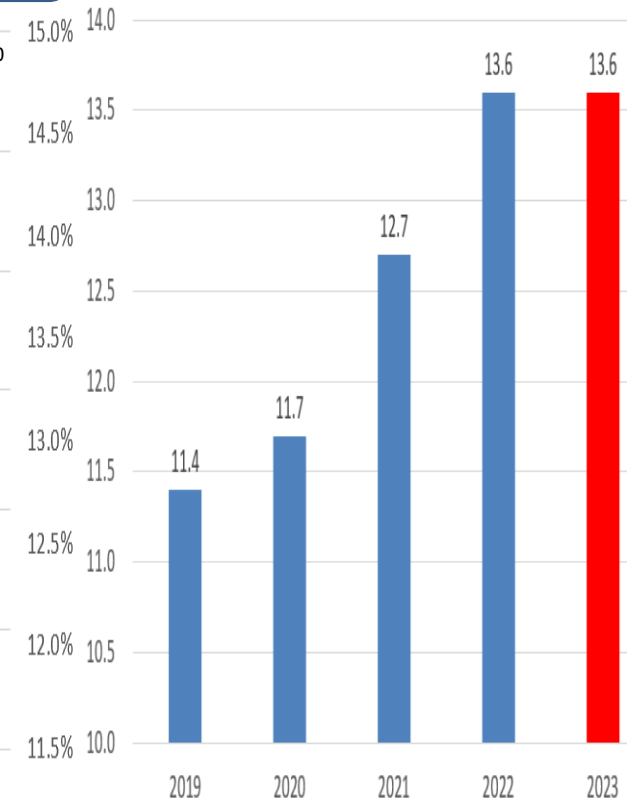
営業利益

5年平均営業利益率
13.9%



ROE

5年平均12.6%



※全ての年度を新基準に換算しての比較

報告セグメント別売上

(単位:百万円、未満切捨、%)

		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期			
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高		199,646	100.0	238,664	100.0	270,840	100.0	32,175	13.5
報告セグメント	日本	121,417	60.8	136,668	57.3	156,851	57.9	20,183	14.8
	アジア	55,988	28.0	70,773	29.7	78,751	29.1	7,978	11.3
	アメリカ	10,037	5.0	16,655	7.0	18,565	6.9	1,910	11.5
	ヨーロッパ	10,297	5.2	12,231	5.1	13,884	5.1	1,653	13.5
	計	197,740		236,327		268,053		31,725	
その他		1,906	1.0	2,337	1.0	2,786	1.0	449	19.2
為替レート (USドル/円)		111円55銭		134円19銭		143円31銭			

報告セグメント別営業利益

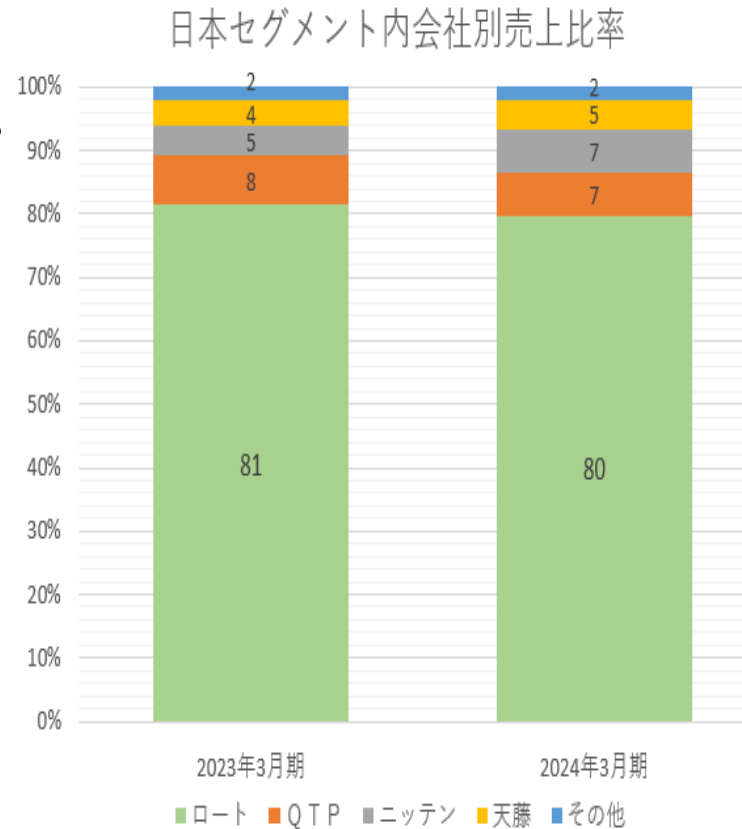
(単位:百万円、未満切捨,%)

		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期			
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
営業利益		29,015	100.0	33,959	100.0	40,048	100.0	6,088	17.9
報告セグメント	日本	19,213	66.2	21,150	62.3	24,437	61.0	3,286	15.5
	アジア	8,365	28.8	10,392	30.6	12,028	30.0	1,636	15.7
	アメリカ	216	0.8	724	2.1	1,205	3.0	481	66.5
	ヨーロッパ	563	1.9	978	2.9	1,385	3.5	407	41.6
	計	28,359		33,245		39,057		5,812	
その他		171	0.6	204	0.6	240	0.6	36	17.8
調整額		485	1.7	509	1.5	750	1.9	240	47.1
為替レート (USD/円)		111円55銭		134円19銭		143円31銭			

日本 大幅な増収増益

売上高	1,568億51百万円	前期比	14.8%増
営業利益	244億37百万円	同	15.5%増

- アイケア、スキンケア、内服カテゴリーで増収
- 「メラノCC」「肌ラボ」「ロートV5」等好調持続
- マスク着用習慣により伸び悩んでいたリップクリームもコロナ禍前を上回る
- 天藤製薬(株)も売上・利益に貢献
- 大幅な増収と原価率の改善に加え、販管費の効率的活用により大幅増益
- 業績予想未達要因:
 売上は3月天候不順による日やけ止めの出荷遅れと天藤製薬で旧品との切り替えの遅れが要因
 利益は売上未達とR&D費、広告費の増加が要因



好調持続の商品群



ドラッグストアで1位の「肌ラボ」と2位の「メラノCC」
基礎化粧品売上NO.1メーカーに※



通販でも大人気のサプリメント
「ロートV5アクトビジョン」



新製品のカラーリップも好調
「メンソレータム フラッシュティントリップ」
「メンソレータム リペアワン 角質ケアリップ」

※インテージSRI+[Weekly]
対象カテゴリー:基礎化粧品計(5カテゴリー)
累計期間:2023年4月~2024年3月、個数ベース

インバウンド需要回復

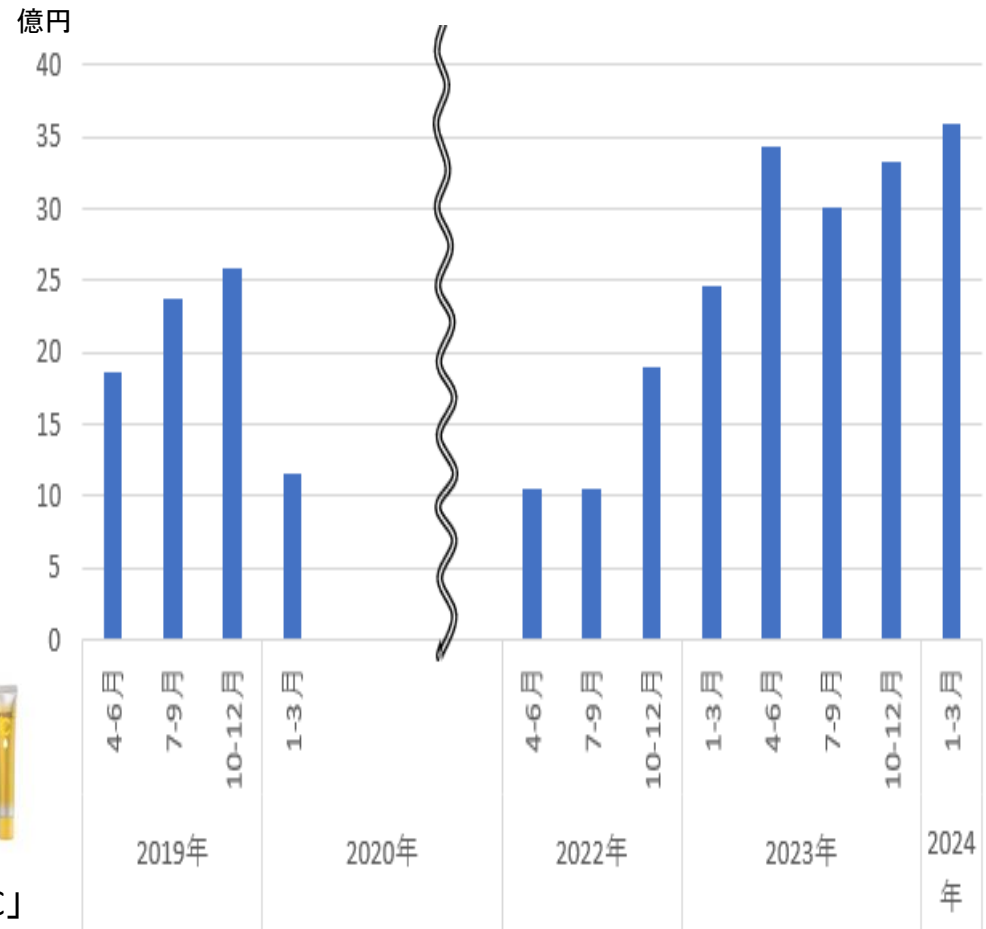


目薬は不動の人気



インバウンドでも人気の「肌ラボ」「メラノCC」

インバウンド売上(推計値)



アジア 大幅な増収増益

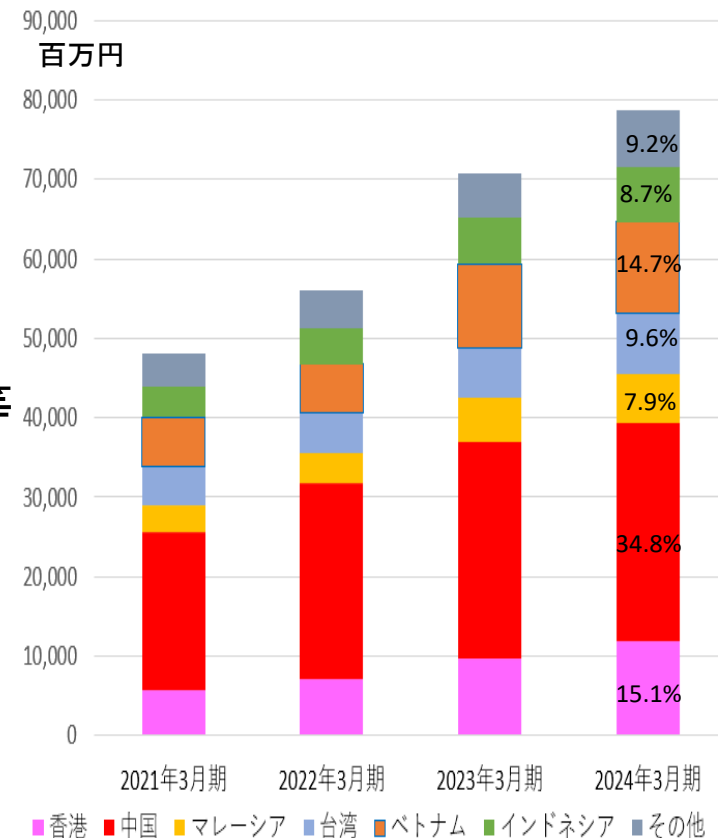
売上高	787億51百万円	前期比	11.3%増
営業利益	120億28百万円	同	15.7%増

□ 香港、台湾、インドネシアが現地通貨で
2ケタ成長し好調持続

□ 中国はQ4から復調傾向

□ 日やけ止め、目薬、「肌ラボ」、「セルサン」等
が増収に寄与

□ 大幅な増収により大幅増益



アジア 主力ブランド好調に推移

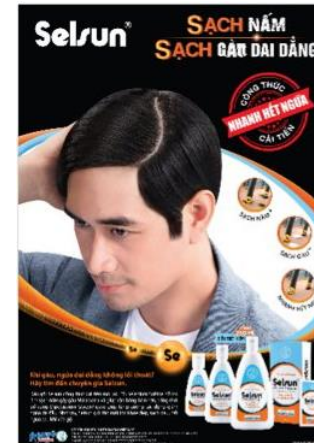
- 日やけ止め:2ケタ成長。特にインドネシア市場が伸長している事に加え、市場シェアを伸ばし大幅増収
- 目薬:2ケタ成長。中国で香港理工大学と共同で眼科研究センターを設立し、さらなる信頼を獲得
- 肌ラボ:2ケタ成長。香港でエイジングケアの新製品が売上に貢献
- セルサン:2ケタ成長。東南アジアでフケ対応シャンプーとして独自のポジションを築いていたことに加え、野外活動の活発化もプラス影響



香港理工大学との調印式を大々的にPR
眼疲労測定の世界標準の確立を目指す



ベトナムの店頭で存在感のある肌ラボ



東南アジア中心に好調の
フケ抑制シャンプー「Selsun」

アメリカ 大幅な増収増益

売上高	185億65百万円	前期比	11.5%増
営業利益	12億 5百万円	同	66.5%増

- 医療用消毒薬等を製造・販売するハイドロックス・ラボラトリーズ社が引き続き好調に推移
- 大幅な増収と原価率の改善に加え、販管費の効率的活用により大幅な増益

医療機関向けルートの
 ハイドロックス・ラボラトリーズ
 社とその製品群



ヨーロッパ 大幅な増収増益

売上高	138億84百万円	前期比	13.5%増
営業利益	13億85百万円	同	41.6%増

- ポーランドのDAXコスメティクス社の化粧品事業が成長
- 「Deep Heat」を中心とした外用消炎鎮痛薬が新製品の発売もあり増収に大きく貢献
- 「Hadalabo Tokyo」が英国市場、東欧及び中東主要国で好調に推移
- 2021年発売のCEマーク点眼薬「ロートドライエイト」で目薬市場を開拓中
- 大幅な増収と原価率の改善効果により大幅増益



好調な新製品
のエコスプレー

コスモポリタン誌で
ビューティアワード受賞の
「Hadalabo Tokyo」



「ロートドライエイト」

2025年3月期 業績予想

代表取締役社長
杉本 雅史

業績見通しのポイント

- 国内は内需がけん引する形で底堅い伸びになると見込まれるものの止まらぬ円安と引き続き原材料価格や燃料価格の高騰及び諸物価の上昇が継続すると予想
- 2025年3月期も増収、増益で過去最高を更新の予定
- 全地域で増収増益の見通し
- 海外の状況
 - 円安予想
 - 中国市場が復調傾向、東南アジア諸国・香港・台湾が引き続き成長を牽引予定
- 日本：中長期の持続的成長に向けて先行投資
 - 国内消費・インバウンド増加
 - 新ブランドの立ち上げ、積極的なマーケティング
 - 医療用眼科治療薬のパイプラインが進捗
- 21期連続増配予定

業績見通し

(単位:百万円、未満切捨,%)

	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期			
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	238,664	100.0	270,840	100.0	300,000	100.0	29,159	10.8
営業利益	33,959	14.2	40,048	14.8	43,000	14.3	2,951	7.4
経常利益	35,568	14.9	42,434	15.7	44,000	14.7	1,565	3.7
親会社株主に帰属 する当期純利益	26,377	11.1	30,936	11.4	32,000	10.7	1,063	3.4
1株当たり 当期純利益 (円)	115.62		135.61		140.27			

為替レート
 USドル/円
 元/円

134円19銭
 19円48銭

143円31銭
 19円82銭

148円00銭
 20円00銭

報告セグメント別売上予想

(単位:百万円、未満切捨,%)

		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期予想			
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高		238,664	100.0	270,840	100.0	300,000	100.0	29,159	10.8
報告セグメント	日本	136,668	57.3	156,851	57.9	172,800	57.6	15,948	10.2
	アジア	70,773	29.7	78,751	29.1	87,500	29.2	8,748	11.1
	アメリカ	16,655	7.0	18,565	6.9	20,800	6.9	2,234	12.0
	ヨーロッパ	12,231	5.1	13,884	5.1	15,700	5.2	1,815	13.1
	計	236,327		268,053		296,800		28,746	
その他		2,337	1.0	2,786	1.0	3,200	1.1	413	14.8
為替レート (USドル/円)		134円19銭		143円31銭		148円00銭			

※ 売上高は外部顧客に対するものです

報告セグメント別営業利益予想

(単位:百万円、未満切捨,%)

		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期			
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
営業利益		33,959	100.0	40,048	100.0	43,000	100.0	2,951	7.4
報告セグメント	日本	21,150	62.3	24,437	61.0	25,500	59.3	1,062	4.3
	アジア	10,392	30.6	12,028	30.0	13,400	31.2	1,371	11.4
	アメリカ	724	2.1	1,205	3.0	1,500	3.5	294	24.4
	ヨーロッパ	978	2.9	1,385	3.5	1,500	3.5	114	8.2
	計	33,245		39,057		41,900		2,842	
その他		204	0.6	240	0.6	300	0.7	59	24.6
調整額		509	1.5	750	1.9	800	1.9	49	6.7
為替レート (USドル/円)		134円19銭		143円31銭		148円00銭			

中長期の持続的成長に向けた先行投資

Vision2030 ～Connect for Well-being～

□ OTCリーディングカンパニー
 へ進化

□ スキンケア領域

□ 機能性食品

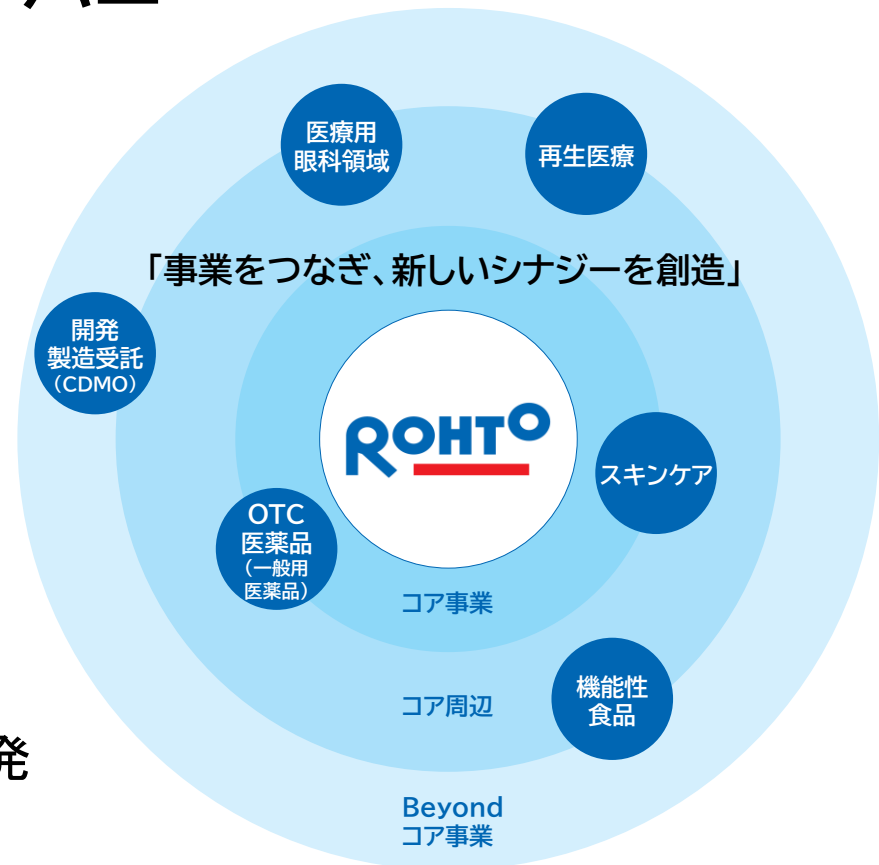
□ 医療用医薬品

□ 再生医療

□ 眼科領域

新薬開発・医療機器開発

□ 開発製造受託 (CDMO)



日本セグメントの成長戦略

□ 既存カテゴリー拡大による経営基盤の強化

□ アイケア: 全世代に向けたファン作り及びエンタリー層の獲得



関根勤さん
中高年ターゲット
TVCM × 新聞



SixTONES
若年層ターゲット
TVCM × SNS



10月10日目の愛護デー
目を守る啓蒙活動
前期はドローン使用



佐々木朗希選手
TVCM × 球場イベント



リセグロウ
TVCM × SNS

□ ロートスキンケア: ブランドとロートを繋ぎフィロソフィーを浸透

□ 日焼け止め強化



新剤型の提案
(ミスト)



AREEZ
スキンケア発想の訴求
TVCM × OOH × SNS

□ 新規カテゴリーに挑戦

日本：CDMOへ注力

□クオリテックファーマ

※法令遵守、高度な医薬品品質システムの構築が大前提

□受注制限解除、新規受託品立ち上げにより大きく増収予定

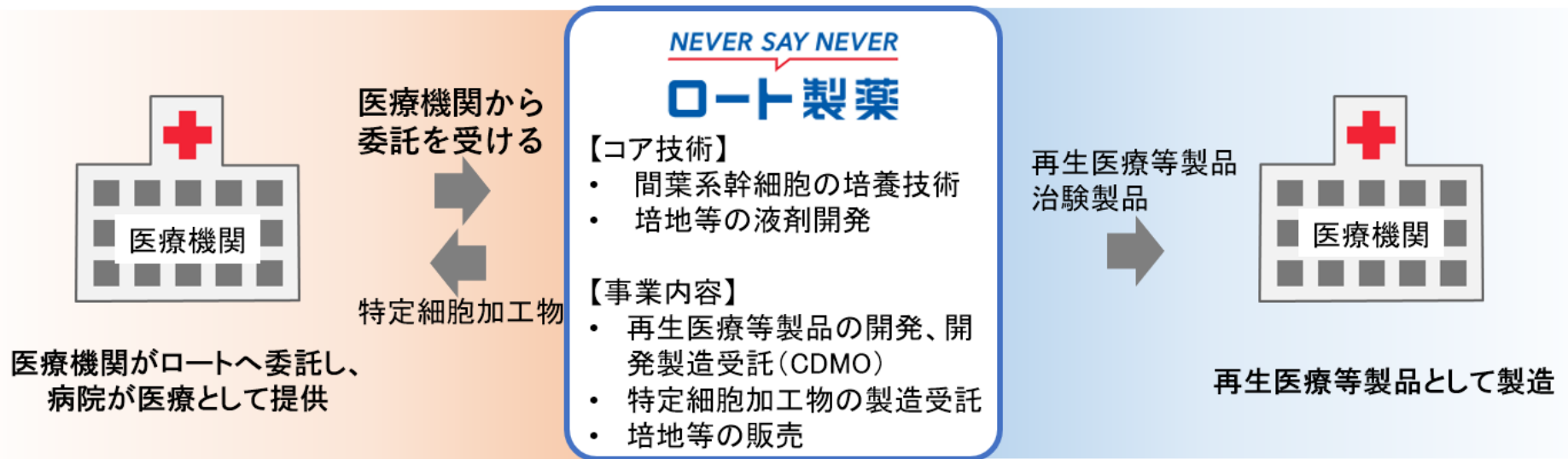
□ CDMO開始（受注済）

□ 円安による原材料費高騰や輸送コストなど製造経費が増加見込み



ロートが取り組む再生医療

- 再生医療等製品は、薬事承認による製造販売と、再生医療等安全性確保法（安確法）にて医療機関が提供する方法があり、ロートは薬機法での承認を目指しつつも、案確法下で再生医療を提供している施設から委託を受けて細胞提供を行っています



外部機関からの高い評価

□「再生医療イノベーションAward」受賞

□第23回日本再生医療学会総会『再生医療イノベーションAward』において、Established Company部門(受賞企業:2社)に選出

□日本発の独自の再生医療技術開発を進めている意欲的な企業を表彰

産・学・医連携の再生医療

- 未来医療の社会実装へ向けた共創拠点
- 「Nakanoshima Cross (未来医療国際拠点)」にラボ・オフィスを開設 (24年4月)
 - 医療現場と連携した細胞治療の研究開発
 - 入居する他企業との連携による細胞治療のサプライチェーン開発・確立
 - 細胞培養加工施設(CPC)併設による社会実装の実現(2025年完成予定)
- 「藤田医科大学東京 先端医療研究センター」へ参画 (23年10月)
 - 共同研究講座「再生・細胞医療開発講座」を開設し、知の探究から社会実装を目指す
 - 先端医療や活動長寿プログラムの一端の食分野での連携
 - 藤田医科大学羽田クリニックから特定細胞加工物を受託加工



医療機関と企業、スタートアップ、支援機関等と大阪府で設立した未来医療の産業化拠点「Nakanoshima Cross」

Nakanoshima Cross
未来医療国際拠点



羽田空港に隣接した「藤田医科大学東京 先端医療研究センター」

再生医療の進捗

再生医療パイプライン一覧 (2024年5月時点)						ステージ					現在のステージ 終了目標 ^{*1}
領域	細胞種	コード	予定適応症等	予定地域	連携先	非臨床	P1	P2	P3	申請	
再生 医療	ヒト脂肪由来幹細胞	ADR-001	肝硬変	日本	塩野義製薬(株)						▶2023年度
		ADR-002K	重症心不全	日本							(P2準備中)
		ADR-001	腎疾患	日本							(P2準備中)
		ADR-001	重症下肢虚血	日本							▶2024年度
		ADR-001	肺線維症	日本							▶2024年度
		ADR-001	新型コロナ肺炎	日本							▶2023年度
	ヒト臍帯由来幹細胞	UDI-001	神経変性疾患	日本							▶2023年度
	軟骨細胞キット ^{*2}		外傷性軟骨欠損	日本							(申請準備中)
		変形性関節症	日本							(2024年度の 治験申請準備中)	

※1:目標は連携先との合意ではない当社の目標 ※2:インターステム社(当社子会社)

- ・肝硬変: P2試験、終了
- ・新型コロナ肺炎: P2試験、終了
5類感染症への移行も考慮して、**開発を中止**
- ・神経変性疾患: P1試験、終了

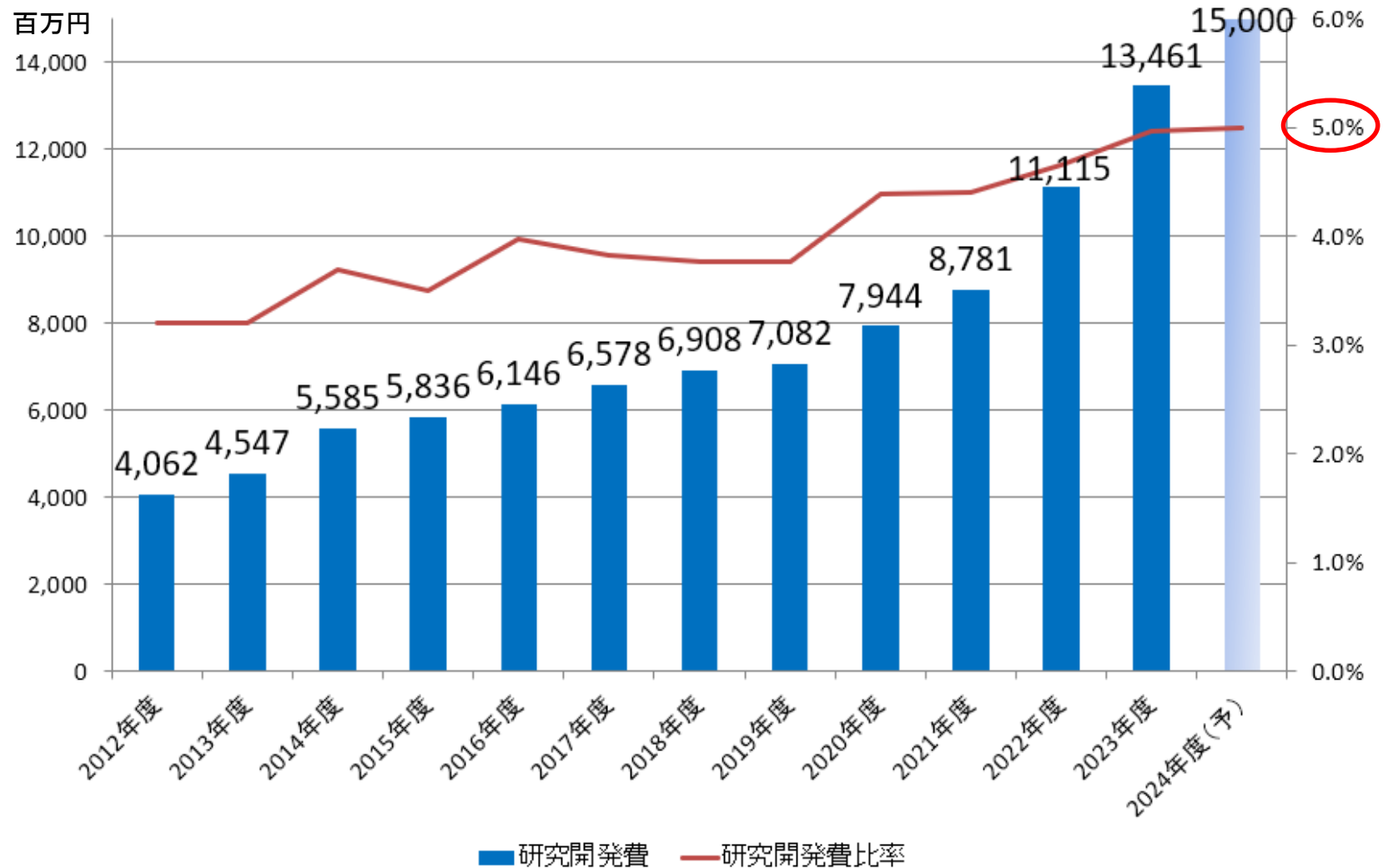
医療用眼科治療薬の進捗

医療用眼科領域パイプライン一覧 (2024年5月時点)					ステージ					目標 ^{※1}
領域	コード	予定適応症等	予定地域	連携先	非臨床	P1	P2	P3	申請	
医療用 眼科	ROH-101	CMV ^{※2} 角膜内皮炎	日本	Théa、(株)エムズサイエンス						▶2026年承認
	ROH-201	ドライアイ ^{※3}	日本	日本たばこ産業(株)						▶2028年承認
	ROH-202	眼科用治療剤	日本	(株)デ・ウエスタン・セラピテクス研究所						—
	ROH-001	近視進行抑制	日本	(株)坪田ラボ						—

※1 目標は連携先との合意ではない当社の目標 ※2 サイトメガロウイルス ※3 シェーグレン症候群患者を含めたドライアイ患者

- ・ROH-101:P3試験終了
- ・ROH-201:P2b試験中

積極的に研究開発を進める 今後も5%程度で推移を想定



～アジア市場が引き続き成長を牽引～

シンガポール漢方薬製造販売企業の株式取得

□ Eu Yan Sang International Ltd. (EYS) の会社概要

□ 東南アジア最大の漢方薬製造販売企業で、145年の歴史を持つ伝統的な漢方薬から食品まで展開する“Natural Health & Wellness”を提供する会社

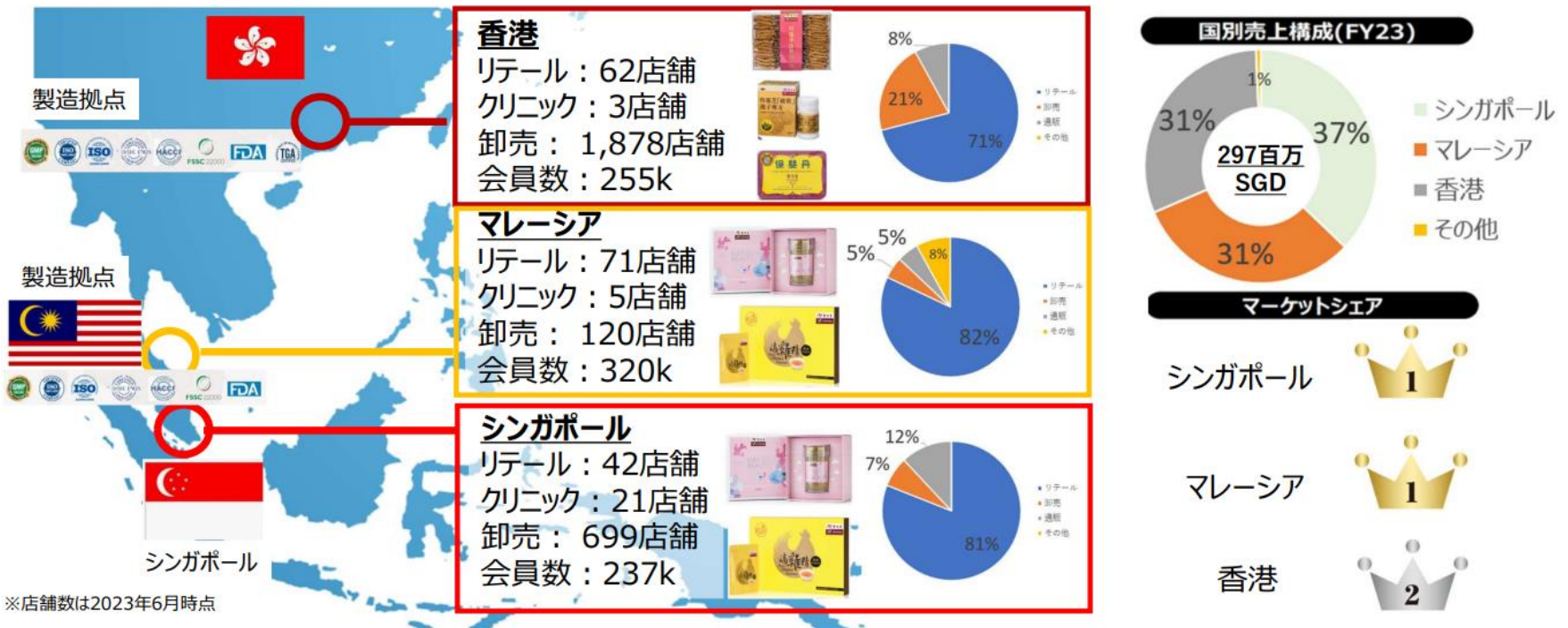


■ 会社概要	
会社名	Eu Yan Sang International Ltd
事業	漢方薬製造販売業
所在地	シンガポール
設立年	1879年
代表者	Wong Ho Kang, Dominic (CEO)
売上高	297.3百万SGD(FY23)
Core EBITDA	42.2百万SGD(FY23)
従業員数	1,357名
製造工場	香港、マレーシア
店舗数	176店舗
クリニック数	29クリニック

* Core EBITDA: 経常利益に償却費、非通常費用、成長関連投資などを加えた数字
※ 店舗数は2023年6月時点

EYS会社概要

□シンガポール、マレーシア、香港で多くのお客様に支持を得ており、世界各国へ“Natural Health & Wellness”商品を提供

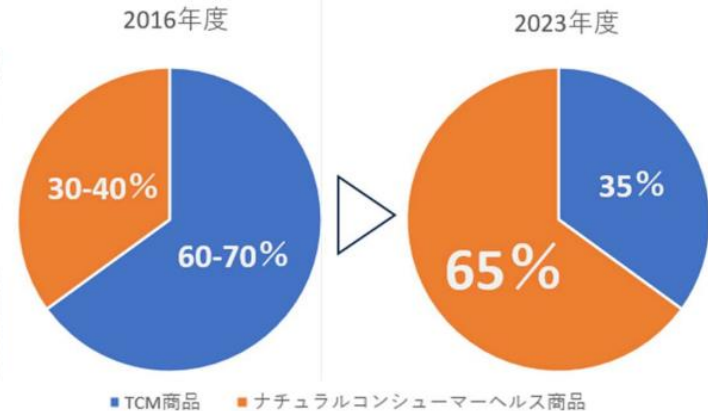


EYS 商品&販売チャネル

□医薬品から食品まで幅広く生薬製品の開発・販売
 直近ではサプリメント・食品の売上比率が伸長

主力製品

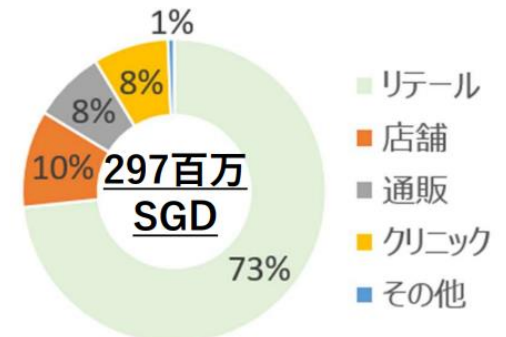
「医」領域から「食」領域まで広範にカバーする豊富な製品ラインナップ



□お客様とのきめ細やかな接点・ニーズに応える
 販売チャネル

- リテール: 直店舗での接客を通じてブランド体現
- 店舗: 小売りを介して幅広いお客様へ
- 通販: D2Cによる顧客90万人との直接的つながり
- クリニック: 服用前からの健康相談、診察・施術

チャネル別売上構成(FY23)



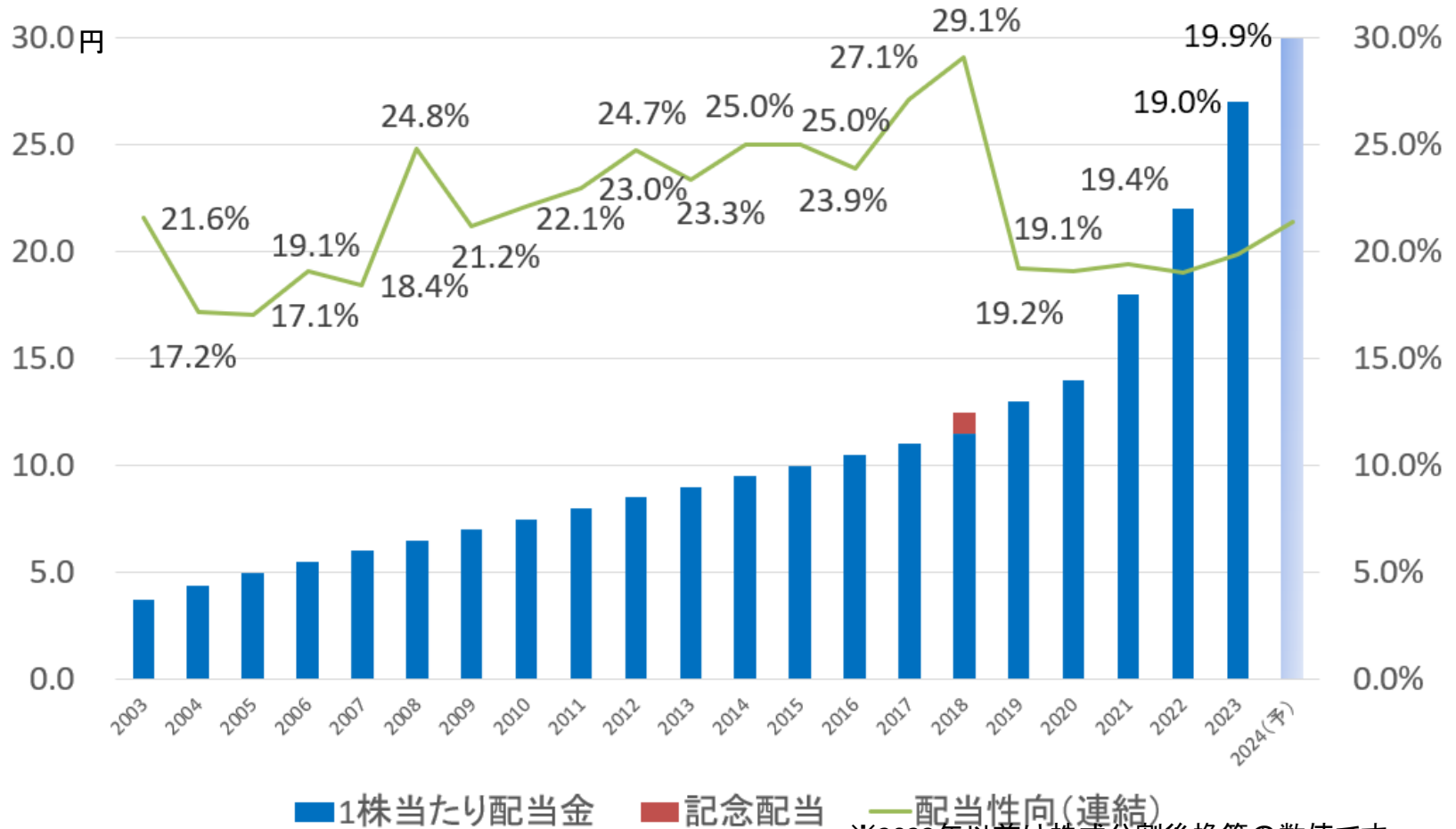
・当該会社による開示情報より (23年6月時点)

資本提携を通じて目指す未来

1. 食事業を第3の柱にし、ロート製薬が目指す“薬に頼らない製薬会社”の実現
2. 今後の発展・成長するアジアの方々の健康に寄与
3. ロートグループの内服リソースを最大限活用（創業製品は胃腸薬）
4. アジアH&B市場で独自のプレゼンス・前例にない健康事業の提供
（スキンケア・アイケア＋内服・・・、マスチャネル＋百万人規模の顧客）
5. ロートグループ全体の人材・地域・事業・チャネルの多様性・バランスの向上

21期連続増配予定

□ 中間配当15円、期末配当15円 年間30円の予定 35.0%
21.4%



※2022年以前は株式分割後換算の数値です

-
- 本資料は、投資判断の参考として、弊社の現状を理解して頂くために作成したものです。
 - 本資料に記載された内容は、作成時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢および弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
 - 本資料には、医薬品等(開発品を含む)に関する情報が含まれていますが、これらは宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではありません。
 - 投資を行う際は、ご自身の判断において行っていただきますよう、お願いいたします。
 - 本資料を利用することにより生じた、いかなるトラブルおよび損失、損害に対して、弊社は一切責任を負いません。
-